



Keita
Nakazawa

クロストーク

CROSS

同じ平成14年に文部科学省に採用された大江人事企画官と中澤人事企画官。時を経て、現在はそれぞれ事務系・技術系の採用や人事を総括する2人がこれからの文部科学行政について語り合う。

何が起るかわからない時代の中で、色々なハードルを乗り越えるためにやはり文部科学省は極めて重要な組織だと思います。

中澤 私も一緒です。文部科学省の政策は社会を変化させるまでのリードタイムが非常に長いです。子供たちが育ち、社会で活躍するのは10年、20年先、あるいは研究の成果が世の中を変えていくのは、場合によっては100年先なのかもしれません。それでもやはり「未来に対する投資」にこだわるのが、この国を支えていく、人類全体を支えていくと思います。それを考えていく文部科学省という組織がやはり必要なのではないでしょうか。文部科学省の略称はMEXTと言うのですが、MはMinistry、EはEducation、TはTechnologyですけれども、残りのXが何かというと、CultureのC、SportsのS、それからScienceのSで、まとめてXと。ただ別の解釈もあって、数学の方程式で未知数をXとしますよね。未知なるものXに対して立ち向かっていくという意味がこめられているのではないかと考えています。

✕ 文部科学省を選んだ理由

大江 大学院のときに、アメリカに研究でインターンシップに行く機会がありましたが、研究室内では非常にレベルの高い議論をしている一方で、一步研究室の外に出ると貧富の差が激しく、日本では気付けなかった大きな教育水準のギャップを感じ、改めて教育というものの重要性を認識したという経験をしました。今の自分があるのは、日本の教育のおかげだと感じると同時に、日本に対して恩返しをしたいという気持ちが芽生え、全ての根幹となる教育に携わりたいと思い、文部科学省に入省しました。

中澤 私はサイエンス全体が好きで、科学というものに携わりながら、働きたいと思いました。それと同時に日本のことがすごく好きで、日本のために働きたいという気持ちと、その両方が掛け合わさった瞬間に、文部科学省というのがすぐ浮かんできました。

✕ 事務系と技術系の交わり

中澤 特に教育と科学技術って、非常に親和性のあるところだなと思います。技術系の感覚から話すと、科学技術政策の推進のためには、当然ながら大学の研究力、仕組みというのは非常に重要になってきますし、あるいは理数教育、最近ではSTEAM教育という言い方もしますけれども、小中学校の段階で探求力を養うというのは、科学技術政策の側面もあり、当然ながら教育政策の中心でもあるというところもあって、非常に親和性はあるなと感じています。

大江 技術系の方はやっぱり理系の専攻の方が多くて、事務系の方はやはり、

大臣官房人事課人事企画官
(併)大臣官房人事課副長
(併)高等教育局学生支援課

中澤 恵太 Nakazawa Keita
平成14年入省(理工III)

平成14年	7月	文部科学省科学技術・学術政策局 原子力安全課原子力規制室
平成16年	4月	同 研究振興局情報課
平成17年	3月	同 研究振興局量子放射線研究課
平成17年	4月	同 研究振興局基礎基盤研究課 量子放射線研究推進室
平成17年	7月	同 研究振興局基礎基盤研究課 量子放射線研究推進室総括係長
平成18年	1月	同 研究開発局開発企画課 総括係長
平成19年	1月	同 高等教育局学生支援課 専門職
平成20年	3月	同 研究開発局原子力計画課 専門職
平成21年	1月	同 研究開発局原子力計画課 課長補佐
平成22年	4月	同 研究開発局原子力課 課長補佐
平成22年	7月	大阪市計画調整局都市再生振興部 産学官連携担当課長
平成23年	4月	同 計画調整局 企画振興部産学官連携担当課長
平成25年	4月	同 都市計画局企画振興部 産学官連携担当課長
平成25年	7月	文部科学省科学技術・学術政策局 産学連携・地域支援課課長補佐
平成27年	4月	同 大臣官房会計課専門官
平成28年	4月	同 研究開発局開発企画課 課長補佐
平成29年	7月	同 科学技術・学術政策局 企画評価課専門官 (命)科学技術・学術政策局 企画評価課企画官心得
平成29年	10月	同 科学技術・学術政策局 企画評価課企画官
平成30年	3月	(併)内閣府大学改革担当室 企画官
令和 3年	8月	同 高等教育局専門教育課 企画官
令和 4年	8月	現職

TALK

Kotaro
Oe

法律、経済、人文など、文系の学問を修学されていた方が多いのですが、実際入ってみると、もちろん学生時代に身につけた専門性というのは大いに役に立つものの、事務系だから、技術系だからとこだわる意味はあまりないかなと思っています。人事に関しては、技術系の職員でも教育をやりたい、文化をやりたいという方や、事務系の職員でも科学技術がやりたい、研究振興をやりたいという方がいれば、そういう部署に配属するので、技術系、事務系の垣根なく、人事が行われていますよね。それによって扱う分野が変わると常に新鮮な気持ちになれるのですが、職員もそういったところをすごく楽しんでいるなど感じます。

中澤 そうですね。技術系だと、やっぱり科学が好きで、科学技術政策を通して、何とか日本を強くしたいと思って入る職員が多いわけですが、実際に文部科学省で働いていく中で、教育委員会等での研修で現場を知る機会があり、教育そのものの課題というところを感じて、教育政策をやってみたいと思う職員も本当に多いです。そういう希望を最大限、モチベーションを持ってやってもらえるように、2人で相談をしながら配属を決めています。

✕ 求める人物像

大江 「文部科学省に入ったかどうかという質問がされますか」という質問が多いいんですけれども、文部科学省がこういう仕事をするところだというふうに枠を決めないでいただきたいなと思って、「それは君たちが考えるんだよ」という話をしています。変化の激しい時代の中で、これまでと同じような仕事をしていたら、やはり行き詰まる場所が出てくると思うんです。色々な壁を乗り越えるために、ルールや規

制、場合によっては組織そのものを変えていく、こういうことにチャレンジしながら、日本の持続的な発展のために、あるいは世界の発展のために活躍できるような、そんな柔軟性を持った人物にぜひ来ていただきたいですね。

中澤 まさにMEXTのXの部分、未知なるものに対して、自分で課題設定して挑戦する人かなと私も思います。あとは非常に長い期間の中で多くの関係者と関わりながら、うまく世の中を変えていくために試行錯誤していくということが必要なので、そういった意味でも、簡単に諦めずに愚直に努力でき、色々な人との対話を積極的にできる人と一緒に働きたいですね。

✕ 志望者へのメッセージ

中澤 文部科学省の魅力は、未来に対して徹底的に挑戦できるというところが1つ。次に、これは個人的な感覚なんですけれども、人にこだわるところ。人を重視している、政策としては人を対象にしているところがあるので、人に対して優しい部分を持っている人が多いと思います。あとは、文部科学省は霞が関の中では高いビルなので、夜景も含めてめちゃくちゃきれいですよ(笑)

大江 何かの拍子にこのパンフレットを開くことがもしあれば、それも何かの縁だと思いますので、まずは文部科学省の職員と直に話をしてみ、当省がどんなところかというのを知ってもらいたいなと思います。それから、私は今年でにじゅう……。

中澤 22年目かな。

大江 だと思えますけれども、年を追うごとに仕事の面白みというのが増している状態で、スルメのように、噛めば噛むほど味のする組織だと思いますので、ぜひ意欲ある皆さんに文部科学省へ来ていただきたいなと思います。



大臣官房人事課人事企画官
(併) 大臣官房人事課副長

大江 耕太郎 Oe Kotaro
平成14年入省(法律)

平成14年	4月	文部科学省研究開発局 海洋地球課
平成15年	7月	内閣府国際平和協力本部 事務局派遣第二係
平成17年	4月	同 国際平和協力本部 事務局派遣第二係長
平成17年	10月	文部科学省生涯学習政策局政策課 政策審議第二係長
平成19年	4月	同 生涯学習政策局政策課専門職
平成19年	7月	同 高等教育局高等教育企画課 国際企画室企画係長
平成20年	6月	同 大臣官房人事課計画調整班 専門職 (人事院留学:アメリカ・デューク大学)
平成22年	7月	文化庁文化財部伝統文化課 課長補佐
平成23年	4月	文部科学省大臣官房総務課 専門官 (併) 審議班審議第一係長
平成24年	4月	(命) 法令審議室審議第一係長 埼玉県教育委員会 教育総務部教育政策課副課長
平成25年	4月	同 市町村支援部 義務教育指導課長
平成27年	4月	文部科学省初等中等教育局 教職員課課長補佐 (併) 初等中等教育局教職員課 教員免許企画室 教員養成カリキュラム開発専門官
平成28年	10月	(併) 初等中等教育局教職員課 教員育成指標専門官
平成29年	7月	文化庁文化部芸術文化課 文化活動振興室専門官 (命) 文化活動振興室長心得
平成30年	8月	外務省在アメリカ大使館 一等書記官
令和 3年	8月	文部科学省高等教育局 国立大学法人支援課企画官 (命) 高等教育局大学改革官
令和 5年	8月	現職

1 年目職員からのメッセージ

MESSAGE
FROM
NEW STAFF

令和 5 年度に採用された職員に
入省を目指してから今までを振り返ってもらいました。

前職で教員を経験しており、教員勤務
の中で学校現場から教員の働き方改革
を推進することの限界を感じ、教育行
政側からこの問題にどうアプローチでき
るのかを確かめたかったため。

JAXA 法の改正に関わる国会対応
窓口。法改正だけでもこんなに大変
なのかと思った。

ロケット打上げの危機管理対応
です。自分が危機管理で携わっ
たこともあり、中継で打上げを
見守っているときの緊張感や無
事打上げ成功した時の安堵は
印象的でした。

Q
やりがい・
印象に残っている
業務

一緒になって政策を進めた議員に
お礼に伺っているときに、自分たち
は今、「自社の利益のためになった」
ではなく、「社会のためになった」こ
とに感謝しているのだと思い、公益
のために働いていることを実感した。

ある計画の資料について、課長に自分の課に関係する部分だ
けを相談しにいったところ、その文章の受け取り手である国
民の目線で見渡したか?と聞かれました。目の前のこ
とで精一杯になることもありますが、国民のために仕事をし
ているということを忘れてはいけないな、と改めて思いました。

全国の都道府県・市町村教育委員会に調
査を実施したこと。調査システムの構築や
事務連絡の作成、自治体との調整を行っ
たうえで、最終的に調査結果の取りまと
めまで行った。時間や労力がかかったが、
その分、達成感を得ることができた。



様々な分野の最先端の研究に触れながら、科学技術の進展に貢献できると思い選びました。教育と科学技術は国が進めるべき、国の根幹であると思っていることも理由の一つです。

Q

文部科学省を選んだ理由

科学技術の振興を通して日本の未来に貢献したいという決意から文部科学省を志望しました。また教育や文化などその他の所掌にも興味があり、総合的に自分がやりたいことが一番できる場所だと思ったことが最終的な決め手となりました。

全ての人が、生まれ育った環境に左右されることなく、自分の意志で自分の可能性を最大限開花させ、希望や目標を実現できるような社会を実現するためには、長期的な視野での「未来に向けての人づくり」の役割を担う教育が重要だと考えたから。

文部省=どんな人 というのではなく、いろんな人がいます。課によろは思いますが、私のいる課は明るい人が多く、たわいもない話で盛り上がりやすくて、とても働きやすいです。

Q

職場の雰囲気

課長や課長補佐などの上司から積極的に声をかけてもらえるため距離が近く、相談しやすいです。自分の隣で係長がバリバリ活躍しているのを見てみると、数年後に自分がそうなれるのか心配になりますが、とても良い目標になっています。

気さくな方が多く相談や質問がしやすい雰囲気です。またお子さんがいらっしゃる職員もおり、家庭と仕事を両立している方が多くいます。そのためか、ワークライフバランスを重視しており、有給休暇も取りやすい雰囲気です。

文部科学省で働くことの責任の大きさを痛感する毎日ですが、他機関からの出向等様々なバックグラウンドを持った、尊敬する先輩方に助けていただき、また仕事がしやすい雰囲気を作っていただいております、感謝してもしきれません。



小説を読んだり、友人と遊んだり、気ままに過ごしています。あとは同期と交流する機会も入省前に思っていたよりも多いです。本当は将来のことも考えて英語等を勉強しようと思っているのですが、なかなか続かないですね。。。

買物や旅行、家で過ごしたり様々です。
同期と出かけることもあります。

ホテルのBARで一杯やってから帰ります。
休日はバイクで首都高攻めています。

家事は全部家電（食洗器・乾燥機付洗濯機 etc）に任せて全力で寝て食べて遊びまくる。

Q

業務時間外の過ごし方 （定時後・休日）

定時後は毎日、1品自炊しています！ご飯を作って食べ、食洗器を回して、お風呂に30分ほど入り、アニメを見ながら次の日の準備をして寝ます。映画を見るとときもあります。

退勤後に同期で飲みに行くこともありますし、休みの日でも仲の良い同期と出かけたりしています。優秀かつ人柄も素晴らしい同期に出会えたことが、自分にとって大きな財産だと思っています。

広い視野を持って物事を考えられるようになりました。業務上、省内外の関係者と連絡を取ることが頻繁にあります。関係者全員に納得してもらえるように、俯瞰的に物事を見つめ、仕事を進められるようになったと感じています。

自分の仕事に関して、人にちゃんと説明することができるようになりました。先輩の教えがなければ何もできなかったのに、仕事を自分で取捨選択できるところまで成長できたのは感慨深いです。

担当分野についての専門知識が深まるとともに、普段の政治動向・ニュースに興味関心を幅広く持つようになり、日々の生活への感受性が非常に成長した。

Q

入省して成長したと感じるところ

（毎日大小様々なミスをするので）
少々の失敗ではへこたれなくなった。

事務処理能力は圧倒的に向上しました。あと、朝決まった時間に起きれるようになったので大きな成長ですね（笑）



どんな進路を選んでも、就職したら人生のうちそれなりの時間を仕事に費やすことになります。挫けそうになることもあります。けれど、これだと思える道を選んだという納得感が自分を支えてくれるので、たくさん考えて自分の道を見つけてください。

文部科学省は教育・科学・スポーツ・文化と所管が多岐にわたるため、様々なバックグラウンドを持ったユニークな人が必要とされていると思います。文部科学省でやりたいことが見つかったら、ぜひ扉をたたいてください。あなたが輝ける場所がきっとあります。

科学は好きだけど、研究は向いてなかったと悩んでいる貴方こそ、文部科学省が向いているかもしれませんね。

所管分野が多岐にわたる文部科学省では、様々な業務にやりがいをもって携わることができると思います。文部科学省に関心を持っていただければ幸いです。

Q

文部科学省を目指す方へのメッセージ

文部科学省はどの分野の博士号取得者もその意義を高く評価され、活躍できる場所です。博士 TF や省内博士を集めた議論会の開催など今 HOT になっております。博士号取得者も社会人ドクターを目指している方もぜひ私たちと一緒に働いてみませんか？お待ちしております！

職業選択にあたり、たくさんの悩みを抱えていることと思います。そんな時こそ、近くの職員の方々に頼っていただき、「人」の魅力にあふれた文部科学省を選択肢の一つにしていただけいたら幸いです。皆さんと文部科学省で会える日を楽しみにしています。

文部科学省では、教育・科学技術・スポーツ・文化という広い分野の仕事に関わることができます。様々な観点で社会を捉え、自分の可能性をたくさん見つけておくと、楽しく仕事ができるはずですよ！



採用情報

業務説明会や官庁訪問等に関する最新の情報は、文部科学省ホームページの採用案内に随時掲載しますのでご覧ください。

文部科学省ホームページ（採用案内 総合職・一般職）

https://www.mext.go.jp/b_menu/saiyou/sgipn.htm



採用状況

直近の総合職職員採用実績

令和6年度総合職採用(内定)者

● ()内は女性の内数 ● 令和6年度の内定者については、卒業見込者、修了見込者を含む

事務系	技術系	合計
19(8)	11(4)	30(12)

		政治 国際	法律	経済	人間 科学	デジタル	工学	数理学 物理 地球科学	化学 生物 薬学	農業科学 水産	農業農村 工学	森林 自然環境	教養	合計
		大卒程度 試験	学部卒	2	3	1(1)								
	修士課程修了			1		1(1)	2							4(1)
	博士課程修了													
	合計	2	3	2(1)		1(1)	2						8(5)	18(7)

		行政	人間科学	デジタル	工学	数理学 物理 地球科学	化学 生物 薬学	農業科学 水産	農業農村 工学	森林 自然環境	法務	合計
		院卒程度 試験	学部卒(6年制)									
	修士課程修了	4(2)			2	1(1)	1			1(1)		9(4)
	博士課程修了			1	1		1(1)					3(1)
	合計	4(2)		1	3	1(1)	2(1)			1(1)		12(5)

令和5年度総合職採用者

● ()内は女性の内数

事務系	技術系	合計
22(9)	13(5)	35(14)

		政治 国際	法律	経済	人間 科学	デジタル	工学	数理学 物理 地球科学	化学 生物 薬学	農業科学 水産	農業農村 工学	森林 自然環境	教養	合計
		大卒程度 試験	学部卒		9(6)	1			2					
	修士課程修了							1(1)						1(1)
	博士課程修了													
	合計		9(6)	1			2	1(1)					5(1)	18(8)

		行政	人間科学	デジタル	工学	数理学 物理 地球科学	化学 生物 薬学	農業科学 水産	農業農村 工学	森林 自然環境	法務	合計
		院卒程度 試験	学部卒(6年制)									
	修士課程修了	3(1)	3(1)		2	1	2(1)			1(1)		12(4)
	博士課程修了		1			1	2(1)			1(1)		5(2)
	合計	3(1)	4(1)		2	2	4(2)			2(2)		17(6)

採用スケジュール(総合職)

文部科学省への入省を希望される方は、必ず官庁訪問をしていただくこととなります。官庁訪問は、試験の種別、採用区分により、開始日、受付場所等が異なります。官庁訪問前には、文部科学省ホームページで詳細を確認してください。また、人事院ホームページもあわせてご覧ください。

人事院HP
試験情報ページ



人事院HP
採用情報ページ



採用情報採用に関する Q&A

Q1 文部科学省では、どんな人材を求めているのですか？

文部科学省では「教育」「科学技術・学術」「スポーツ」「文化」といった幅広い分野を担当しています。これらは、「人材の育成」の観点から、いずれも極めて重要な行政分野であり、未来の動向を見据えた総合的な政策の企画・立案及びその展開が強く求められています。「人」を育て、「知恵」を生み出し、「未来」の基盤をつくっていくという役割を担う文部科学省では、人間が好きで、将来のビジョンのための新しい感覚、柔軟な思考力とそれを現実に結びつけるのに必要な、困難な課題にも粘り強く立ち向かう気概や想いを持った方々を求めています。

Q2 総合職と一般職の職員の仕事内容は、どのように違うのですか？

総合職は政策の企画、立案や省内外との調整業務、一般職事務系は総務、会計といった管理業務や事業の実施、一般職技術系は技術的な知識、経験を背景に専門性を活かせる業務に携わることが多いかと思えます。しかし、従来から文部科学省では本人の希望や能力、適性等を踏まえた人事配置をしており、一般職職員が、適性や能力に応じて、政策の企画、立案の色合いの濃い仕事に携わることもあります。

Q3 事務系行政官と技術系行政官の職務上の違いはありますか？

試験区分に応じて、事務系採用、技術系採用とありますが、事務系行政官・技術系行政官の区別はありません。当然、高度な専門的知識を必要とする業務の場合は、事務系と技術系の背景を考慮しますが、入省後は「適材適所」で配置が決まります。これからの「変革の時代」を乗り切っていくためには、自分の専攻分野にとらわれず、幅広い視野を持って、新しい世界にどんどん挑戦していく積極性が求められます。

職員訪問

仕事の内容や職員の雰囲気をもっとよく知っていただくために、職員訪問の機会を設けています。区分・職種ごとに申込方法が異なるため、詳細は以下のページをご参照ください。

http://www.mext.go.jp/b_menu/saiyou/1330632.htm



文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップについて

文部科学省において実務を体験することにより、主体的な職業選択や高い職業意識の育成を図り、文部科学省行政への理解を深めてもらうことを目的に夏期及び春期休業中に実施しています。開始時期の約3ヶ月前から文部科学省のホームページに実施概要を掲載します。

応募人数と

受入人数の推移

(令和6年1月26日現在)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	夏期	春期	夏期	春期	夏期	春期
受入人数	71	60	60	36	54	39
応募人数	567	230	492	135	365	92

ジョブ型研究インターンシップについて

大学院教育の一環として行われる長期間かつ有給の研究インターンシップの普及により、これらのことを文化として社会に定着させること、そして、それをもって、Society5.0に相応しい雇用の在り方と高等教育が提供する学びのマッチングを図ることを目的として、令和3年度より、先行的・試行的取組としてジョブ型研究インターンシップが実施されています。文部科学省におけるジョブ型研究インターンシップでは、文部科学行政、とりわけ科学行政政策に対する理解を深めてもらうとともに、学生の専門分野の学修の深化や公務又は科学技術に関係する職業を志望する人材育成の一助となることを目的に、令和4年度より募集を開始しています。

お問い合わせ先

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 TEL 03-5253-4111 (代表)

事務系

大臣官房人事課任用班任用第一係
(内線 2135)
E-mail : mext-s@mext.go.jp

技術系

大臣官房人事課任用班任用第二係
(内線 3426)
E-mail : saiyou-tech@mext.go.jp

施設系

大臣官房文教施設企画・防災部
施設企画課総務係 (内線 2523)
E-mail : sisetu-somu@mext.go.jp



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

文部科学省・スポーツ庁・文化庁（東京）



〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 TEL 03-5253-4111 (代表)

文化庁（京都）



〒602-8959 京都府京都市上京区下長者町通
新町西入藪之内町85番4
TEL 075-451-4111 (代表)

採用に関する問合せ

TEL 03-5253-4111
(代表)

事務系

大臣官房人事課
任用班任用第一係 (内線2135)
E-mail: mext-s@mext.go.jp

技術系

大臣官房人事課
任用班任用第二係 (内線3426)
E-mail: saiyou-tech@mext.go.jp

施設系

大臣官房文教施設企画・防災部
施設企画課総務係 (内線2523)
E-mail: sisetu-somu@mext.go.jp